

古賀総合病院

外科ニュース

Vol.7

ロボット支援下結腸悪性腫瘍手術施設基準を取得いたしました (2025年6月)

このたび古賀総合病院外科では、2024年11月から2025年5月までにロボット支援下結腸悪性腫瘍手術10例を安全に施行し、厚生労働省が定める施設基準を取得いたしました。これにより、今後も保険適用のもと、結腸がんに対するロボット支援下手術を安定的にご提供できる体制が整いました。

結腸がん手術における
ロボット支援下手術のメリット

従来の腹腔鏡手術と比較して、ロボット支援下手術には以下のようないくつかの特徴があります。

体腔内吻合の安定性向上:

多関節鉗子と高解像度3D視野で、狭小空間でも安全で精緻な吻合が可能

小開腹創での摘出:

体腔内吻合により小開腹創が最小限となり、疼痛軽減と整容性向上につながる

術後在院日数の短縮:

低侵襲手術のため回復が早く、早期退院・社会復帰が可能

出血量の抑制・合併症の低減:

ロボット支援ならではの操作精度で、周囲組織へのダメージを最小限に



術中写真.ロボット支援下結腸手術における体腔内吻合



写真.ロボット支援下手術

部位	(2024年11月～2025年5月)
下行結腸部分切除	3
S状結腸切除	7
直腸	(2024年12月～2025年5月)
低位前方切除	9
超低前方切除	1
直腸切断	1
胃	(2025年4月～2025年5月)
幽門側胃切除	2

表.当科でのロボット支援下手術の実施件数

当院では、ダビンチXi®システムを導入し、専任執刀医を中心に、安全・確実なロボット支援下手術を実践しています。今後も、患者さまの生活の質(QOL)に配慮した外科治療を、地域の皆さまとともに進めてまいります。